

ふれあいねっと便り

編集・発行：ふれあいねっと会議

2019年5月15日 —— 第2号

みんなでつくる助け合いの地域づくり

松川村において、「ふれあいねっと会議※1」と「生活支援コーディネーター※2」が活動を始めたことは、前回のふれあいねっと便りや村の広報でお知らせいたしました。今回は第2号としてその後の活動や地域の情報をお届けします。“日常生活の困りごと”は“ちょっとした手助け”で解決できることがたくさんあります。みんなで、支え合いの地域づくりを目指して行きましょう。

1 「ふれあいねっと会議」の活動状況

3月5日、ふれあいねっと会議が開催されました。会議では今まで取り組んできた助け合いの地域づくりを考える3つの活動として、①助け合い体験ゲーム、②地域の宝物マップの作成、③ふれあいねっと便りの発行、についての振り返りと、今後の目標を検討しました。また、松川村に合った支え合いの仕組みづくりを推進する為すでに実施している大町市の活動などを参考に勉強会の開催が提案されました。

今後とも、みんなでつくる助け合いの地域づくりを推進、応援していきます。



2 「助け合い体験ゲーム」を、北細野地区(つくしの会)で開催しました。

20年前に東細野地区から分区した北細野地区は、「つくしの会」としてふれあい会の活動を行い、高齢の方たちの居場所づくりの一翼を担っています。昨年11月、15名の参加でゲームを行いました。ゲームを体験する前は何も困っていませんというような方も、ゲームが進むにつれ困りごとの話が出てきました。

通院や買い物などの送迎、除雪、見守りや散歩、掃除などが困りごとの代表例としてあげられましたが、なかには、お墓参りに一緒に行ってほしいという話もありました。「助け合い体験ゲーム」を通じて、コミュニケーションが深まっていくのが実感できました。皆さんも、私たちと「助け合い体験ゲーム」を体験してみませんか。区や仲間うちの集まりなど、気軽にお声かけください。

詳しくは、松川村保健センター内、地域包括支援センターまでお問合せください。



※1 ふれあいねっと会議：松川村に合った支え合いの仕組みや助け合いの地域づくりについて話し合い、知恵を出し合う場です。民生児童委員やボランティア、介護保険事業所などの各種団体や公募で選ばれた住民で構成され、地域で行われている取り組みの情報共有や将来に向けての意見交換を行いながら活動を進めています。

※2 生活支援コーディネーター：“地域支え合い推進員”とも呼ばれ、ふれあいねっと会議と協力しながら地域のさまざまな活動をつなげ、組み合わせる調整役です。現在は、赤澤直子さんが務めています。保健センターを活動の拠点にして、皆さんとともに地域づくりを目指します。

3 ご自分で運びきれない荷物。配達で応援します！…買い物サポート事業

北アルプス広域連合5市町村で実践的なモデル事業として、昨年11月より取り組まれている北アルプス買い物サポート事業。松川村では、期間中27名の方にモニターの登録をしていただきました。その中のお一人で、緑町区にお住いの山崎雅子さんにお話を伺いました。

山崎さんは3日に1度ぐらいシルバーカーを押して、西友松川店で買い物をしています。「体の運動も兼ねて歩いて買い物にきているけれど、お米は重いので持ち帰りに困っている」とのこと、さっそくモニター登録。



山崎雅子さん

Q 今までのモニター期間中何回利用しましたか？ … A 4回利用しました。

Q どんな品物を配達してもらいましたか？ … A 米10キロ、ペットボトルの醤油、みりん、味噌、砂糖、塩などの調味料や大根などの根菜です。

Q 利用してみた感想は？ … A 今まで重い物は娘が来たときに買ってもらっていたけれど、今回は自分の目で見て好みに合う品物を買うことができ、それが一番良かった。モニターで無料もありがたいし、買い物帰りもシルバーカーが軽くて歩きやすかった。

Q 使ってみて何か要望はありますか？ … A これからも引続き利用できたらありがたい。できれば冷蔵品も配達してもらえたらいいんだけど。



このように、買い物を機会に外に出て歩いたり、知っている人と話ができたり、好きなものを自分で見て買うことなどが、自然に介護予防となり自立した生活につながると期待されています。この買い物サポート事業は、2019年11月末まで実施します。対応店舗は、西友松川店、ビック池田店、池田町てるぼう市場です。詳しくは、松川村保健センター内、地域包括支援センターまでお問合わせください。

4 ボランティア活動に、参加してみませんか！

村内では、さまざまなボランティア活動が行われています。例えば、毎月第4週目の水曜日には「ともだち広場」が開催されています。参加者とボランティアで、昼食を楽しんだり、おしゃべりをしたり、外出をしたりなどで交流を深める会です。先日は、諏訪方面へ外出しました。原田泰治美術館の見学では原田さんご本人と記念撮影ができ一同感激でした。高齢の方の車での移動はボランティアの協力で無事帰宅することができ、参加された皆さんから感謝をいただいています。ボランティアは60～70代の方が中心で、参加者の皆さんに寄り添いながら活動。今後もさまざまな交流を通じて、参加者もボランティアも大いに楽しめる集まりにしていこうと計画を立てています。

このように、ボランティアは地域のくらしを支える貴重な力です。現在、松川村社会福祉協議会や公民館などではボランティアを募集しています。皆さんも、ボランティア活動に参加してみませんか。皆さんの力が、助け合いの地域づくりを支えます。

「ともだち広場」につきましては、社会福祉協議会事務局（☎62-9000）までお問合わせください。



TOPICS

「りんりん号」あづみ病院へ運行開始

現在、社会福祉協議会が運営。村内を巡回している「りんりん号」が、あづみ病院へ行くことができるようになり利便性が向上しました。車は、現在はマイクロバスですが、ワンボックスカーに変わります。皆さんの足として、ますますの利用の促進が期待されます。



●お問合せは…ふれあいねっと会議事務局

松川村役場福祉課 松川村地域包括支援センター Tel. 0261-62-3290 Fax. 0261-62-1030